



## 各種学力調査の結果について

今年度、4月に各学年で実施した各種学力調査の結果についてお知らせします。

### 1 全国・県・市学力調査の結果（全国・県・市と本校生徒の平均正答率の比較）

上回る：○ ほぼ同等：≡ 下回る：▲

	国語	数学	英語
第1学年	▲（市）	▲▲（市）	9月26日実施
第2学年	▲（県）	▲▲（県）	
第3学年	○（全国）	▲▲（全国）	▲（全国）

### 3年 全国学習状況調査（生徒質問紙）

全国・県の状況と比較して、よい傾向にある項目、課題となる項目を抜粋しました。

よい傾向が出ている項目	課題となる項目
将来の夢や目標を持っている	自分には、よいところがある
人の役に立つ人間になりたい	自分と違う意見について考えるのは楽しい
教師からよいところを認められている	家で自分で計画を立てて勉強する
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる
授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で取り組んでいる	

### 2 課題と今後の取組

#### <3年>

各教科の正答率は、国語科は全国平均を上回り、良好な結果、英語科は努力を要する、数学科は大変努力を要する結果であった。

国語科は、昨年度から正答率の低下は見られず、学力を維持している。「知識及び技能」と「我が国の言語文化に関する事項」については、県・全国と比較して10%以上上回っていた。全体的にどの領域も力が定着していたが、「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」については、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書くことに課題が残るため、本文を根拠として考えを導き出す習慣を身に付けけることができるように問題に取り組みさせていきたい。

数学科は、学習指導要領のすべての領域で下回っており、特に図形や関数の領域での表現や判断、必要なことからの選択に不十分さがある。また、資料の整理等についても定着が不十分であ

る。今後は、下位学年の学習内容を振り返りながら、受験対策を進め、深堀タイム等も活用し力を高めていく。

英語科は、2年時から1分間に読める単語数の練習や、1年時から聞く力を向上させるために教科書を見ずに本文を聞いて概要を把握したり、正確な音読をさせたりすることに取り組んできたことで、一定の成果は表れた。一方、情報を正確に読み取る力や未来表現を用いた表現と自分の考えと理由を書く力が不足している。今後は、定期的に自分の考えと理由を書く力を高める課題を与えていく。

生徒質問紙の結果では、よい傾向が出ている項目に「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」等があった。生徒は、自らの進路実現に向け、前向きにとらえていることや、広い視野で社会に貢献することを願っていることがわかる。一方、課題となる項目からは、自己肯定感や課題に対して粘り強く取り組む姿勢、家庭での計画的な学習への取組が課題であることがわかった。

## <2年>

国語科、数学科ともに県平均を下回った。国語科は努力を要する、数学科は、大いに努力を要する結果となった。

国語科では、文章を正確に読み取る読解力、文章の表現力、語彙全般の学力が課題である。

今後は、文章を正確に理解・把握させるポイントを示し、それを利活用した読み取りの訓練をしていく必要がある。また、普段から小さなテーマで短作文や感想文、鑑賞文を書かせる時間を設定する。

数学科は、すべての領域で下回っており、特に「図形」や「データの活用」の活用率が低い。今後は、授業開始の5分間で1年生の復習を行い、深堀タイムでは、計算を中心に反復練習を行う。また、キュビナを活用し、語句の意味を正しく理解させる。

## <1年>

国語科、数学科ともに市平均を下回った。国語科・数学科ともに努力を要する結果となった。

国語科は、特に「書くこと」「読むこと」の領域の学力が不足している。問題の文章を正確に読み取れないことが、その後の情報を使ってよりよい文章を書くというところにつながっていないと考えられる。今後は2年生と同様の手立てを講じて学力向上を図る。

数学科は、すべての領域で下回っており、基礎・基本的な内容の理解や計算技能が低い生徒が多いことが課題である。今後は、小学校の内容と中学1年生で学習する内容で重複する部分が出てくるので、各領域のつまずきにそって対応する。また、困難な問題に向き合ったときに、あきらめてしまう生徒の割合が多いことから、我慢強く問題に取り組む姿勢を育てたい。

各種学力調査結果から、正答率以外に各設問の問題の問われ方、解答の仕方に着目し更に分析を行ったところ、どの教科においても与えられた情報を整理する力、読み取った内容を明確にして自分の考えの根拠とする力に大きな課題があることがわかりました。そこで、深堀中の課題を、次のように設定しました。

**「目的に応じて必要な情報を読み取り、  
根拠を示して自分の考えを説明する」**

学校課題については子どもたちにも1学期の終業式で伝えましたので、今後は授業の中で常に意識してこの課題解決に向けて取り組んでいきます。